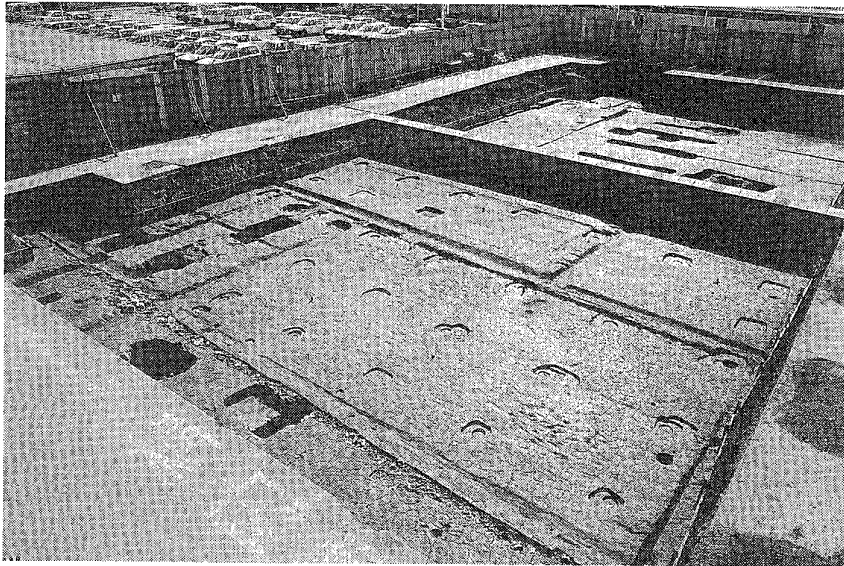


平安京名京六條一坊

現地説明会資料



1996年11月30日

(財)京都市埋蔵文化財研究所

平安京右京六条一坊第12次調査現地説明会資料

所在地 京都市下京区中堂寺粟田町

調査期間 1996年9月2日～継続中

調査面積 約650㎡

はじめに

当研究所はこれまでに1987年以来、大阪ガス京都工場跡地において11次にわたる発掘調査を実施している。この一連の調査はJR丹波口駅周辺の整備再開発に伴うもので、そのうち右京側の大阪ガス京都工場跡地は右京六条一坊の五・六・十一・十二・十三・十四町にあたる地域である。この地域での9年間の調査によって多数の平安時代の遺構・遺物を検出しているが、とくに五町（1・2次）の調査では五町全域を占め、寝殿造りの先駆的な形態とみられる建物配置をとる平安時代前期の邸宅跡を発見している。

この五町と皇嘉門大路を隔てた西側にあたる十一・十二・十三・十四町で実施した3次以降の調査では、西櫛笥小路・楊梅小路など条坊に関連する遺構や掘立柱建物・井戸・溝など平安時代の遺構を多数検出した。建物と井戸との関係や町を区画する溝・柵などの施設から、これらの町は五町のように1町を占有した邸宅とは異なり、1/4程度あるいは1/8程度の広さをもった宅地で構成されていたことが明らかになってきている。

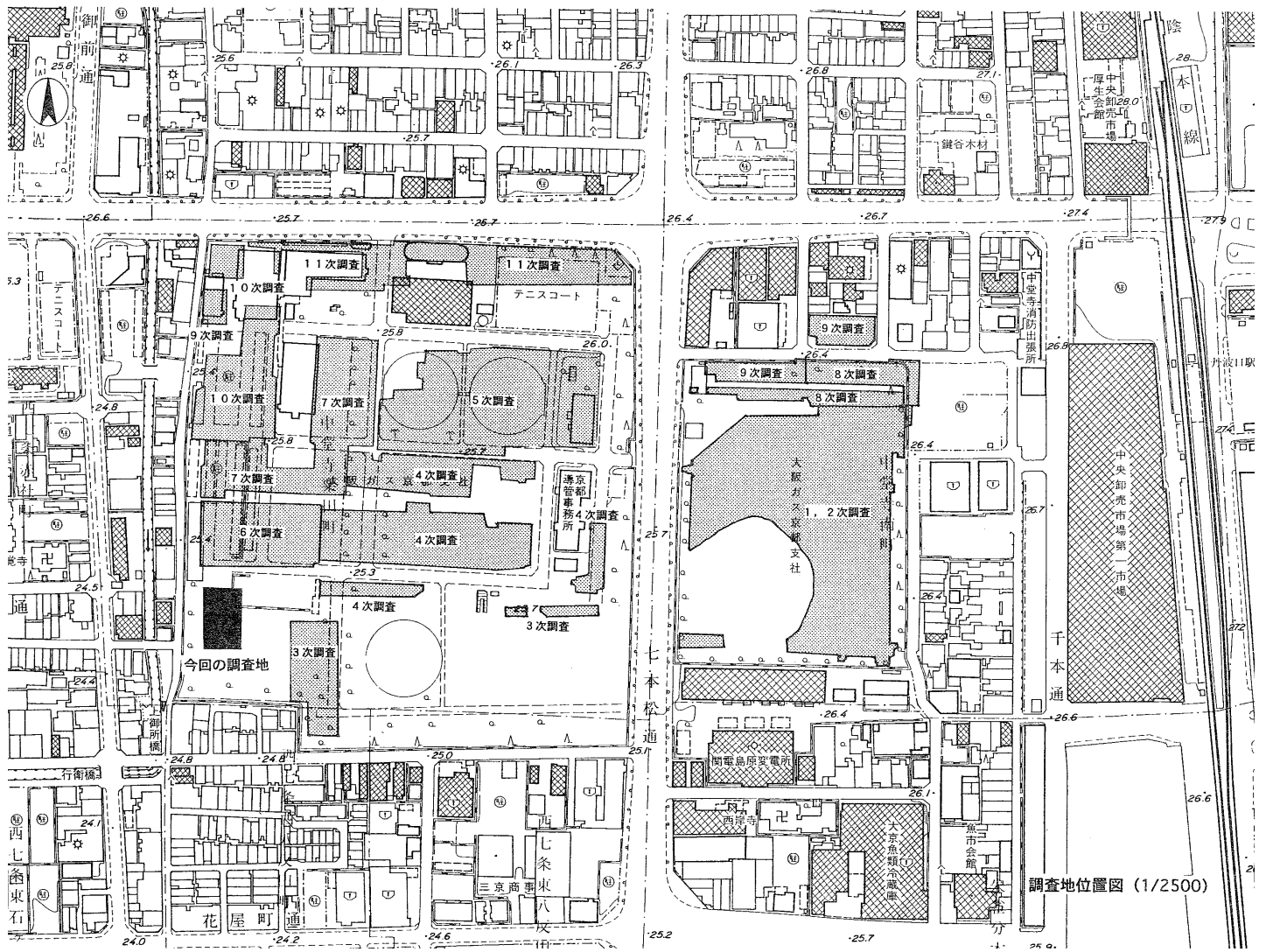
今回の説明会では、現在進行中の第12次調査の遺構とともに、右京六条一坊でこれまでに確認された成果の概略を含めて発表し、平安時代前期のこの地域の概観を述べたい。

第12次調査の概要

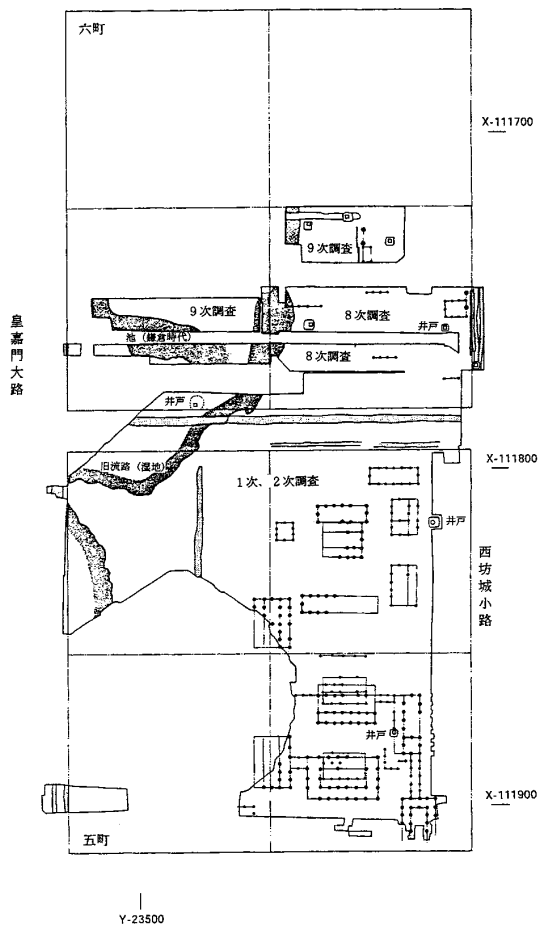
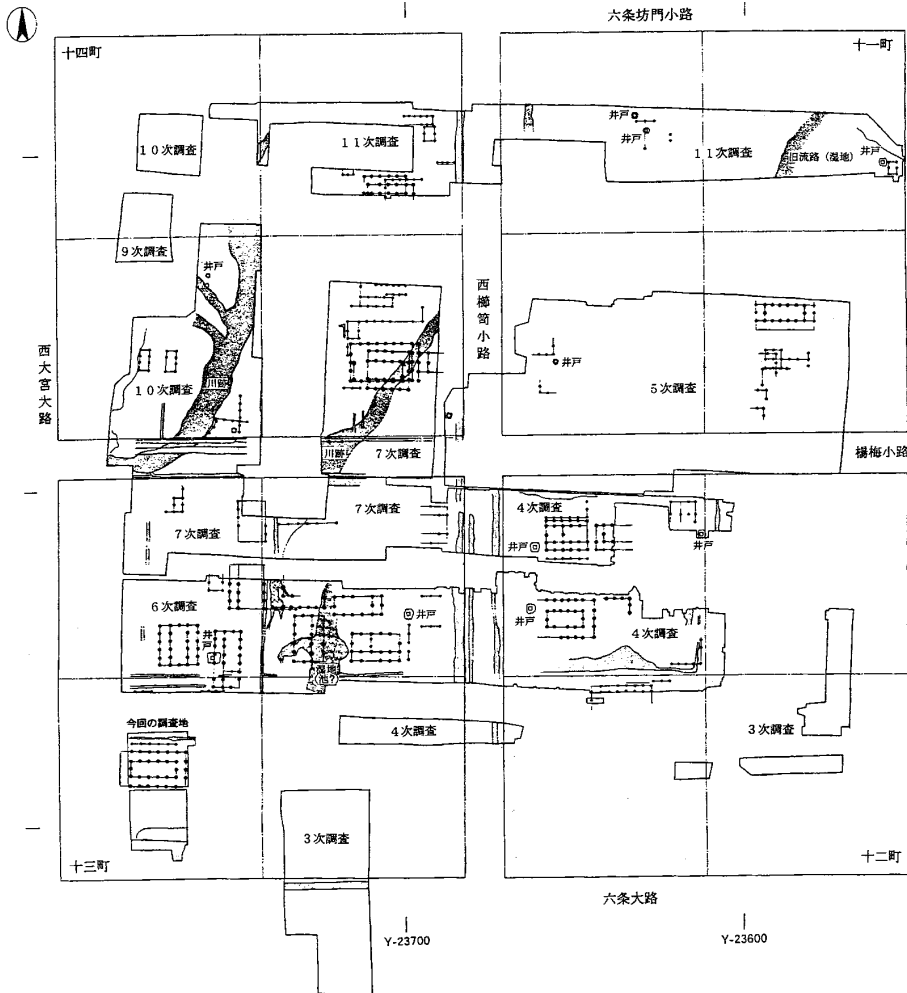
第12次調査区は十三町の南西部に該当するが、北部で実施した4次・6次・7次調査の成果からこの町は当初1/4に分割され、その後1町全域がひとつの宅地として利用されていた事が確認されている。今回の調査で検出した遺構は東西方向の溝SD19・SD20、掘立柱建物SB01および池状の落ち込みSX21である。SD19は、その北側のSX21を整地し北肩を杭と板で護岸した東西方向の溝状の遺構で、南肩は未確認のため幅は不明である。十三町南端から約12m北に位置し、南の内溝とするには位置や規模の点から難しく、SX21同様に池状の遺構かもしれない。SD20は幅約0.3mほどの東西方向の溝で、SB01の北1.5mを平行に走る。一部で幅が広がるが、その部分には両肩に石積みがあったようである。溝の埋土には土器類が多量に含まれている。SB01は南北2間×東西5間の身舎の4面（西面は未確認）に廂が付く東西棟で、柱間は南北8尺、東西9尺、廂の出は9.5尺である。北廂のさらに北8尺の位置にもう1列柱が並び、孫廂をもつ建物である可能性がある。

遺構の時期と十三町の状況

溝や建物の柱穴から出土した土器類の型式から見ると、これらの遺構はすべて9世紀後半に属するもので、その廃絶期は9世紀末頃と考えられる。北側の調査成果からみてこの時期には十三町は全域がひとつの宅地となっており、SB01はその中でも規模の大きな建物であったことがわかる。



調査地位置図 (1/2500)



右京六条一坊の遺構

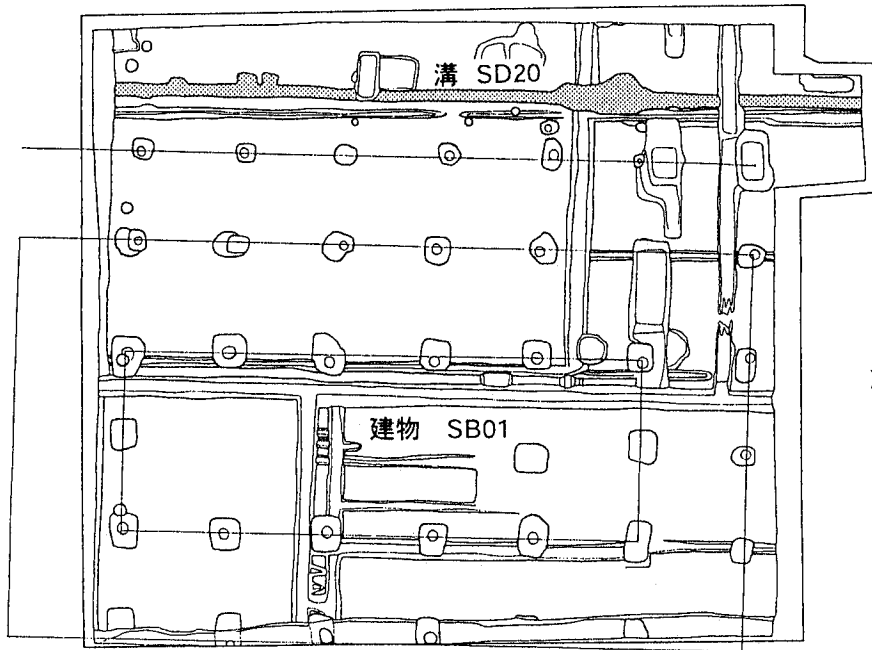
平安京右京六条一坊の発掘調査一覧

次数	対象地域	調査面積 調査時期	平安時代前期の主な遺構	平安時代末～鎌倉時代の遺構
1次 2次	五町と六町南東部 *1	7300m ² 87.09～88.04	楊梅小路南側溝 皇嘉門大路東側溝、内溝 掘立柱建物、柵、井戸、溝	楊梅小路南側溝 掘立柱建物、柵、井戸、溝
3次	十二、十三町南西部 *2	1610m ² 89.03～89.06	六条大路北側溝	六条大路北側溝
4次	十二町北西部と十三町北東部 *2	5670m ² 89.07～90.05	西櫛笥小路東西側溝 十二町東西中央区画溝、柵 十二町南北中央区画溝、柵 十三町南北中央区画溝 掘立柱建物、井戸	
5次	十一町南部と十四町南東隅の一部 *3	6050m ² 91.02～91.06	十二町東西中央区画溝 掘立柱建物、井戸	西櫛笥小路西側溝、井戸
6次	十三町中央北寄り *4	2000m ² 91.11～92.03	十三町東西中央区画溝 十三町南北中央区画小径、側溝 掘立柱建物、柵、井戸、湿地(池)	
7次	十三町北部および十四町南東部 *5	3805m ² 92.07～93.01	楊梅小路南北側溝、路面、南内溝 掘立柱建物、柵、土壌、溝、川跡	楊梅小路路面
8次	六町南部 *6	1400m ² 93.08～94.03	西坊城小路西側溝 掘立柱建物、柵、井戸、湿地	西坊城小路西側溝 掘立柱建物、柵、井戸、池
9次	六町南部および十四町西の一部 *7	1247m ² 94.04～94.08	掘立柱建物	五町南北中央区画溝 掘立柱建物、柵、井戸
10次	十四町南西部 *8	3445m ² 94.08～95.02	楊梅小路北側溝 掘立柱建物、柵、井戸、溝、川跡	井戸、川跡
11次	十一町および十四町北部 *9	3320m ² 95.04～95.12	掘立柱建物、柵、井戸、溝、川跡	西櫛笥小路西側溝
12次	十三町南西部(今回の調査地)	650m ² 96.09～	掘立柱建物、溝	

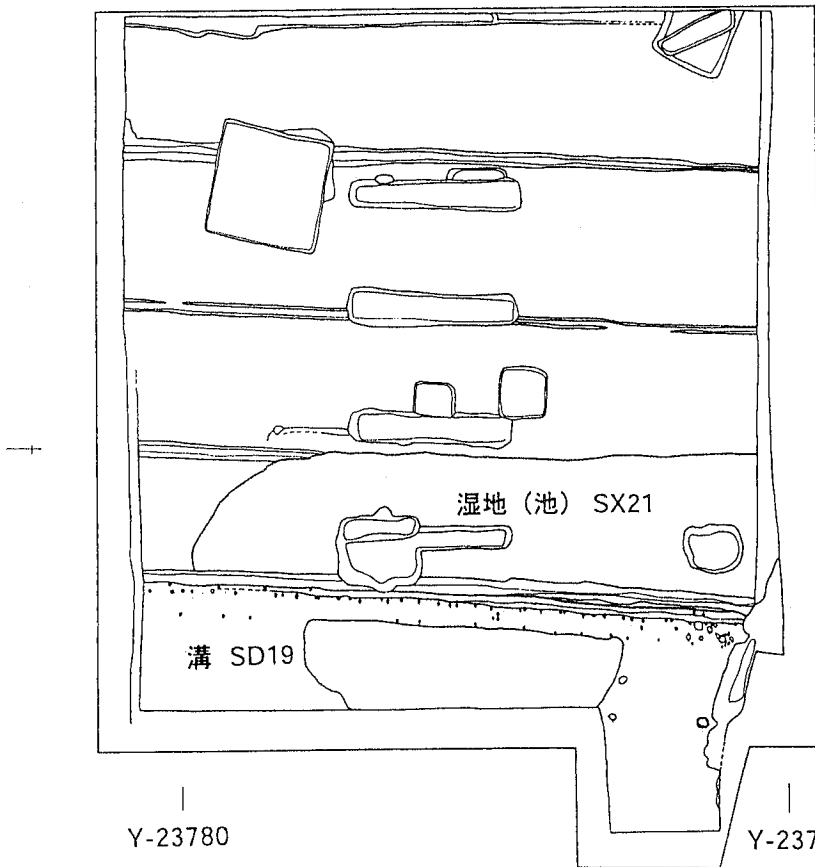
参考文献

- *1 『平安京右京六条一坊 平安前期邸宅跡の調査』
- *2 平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *3 平成2年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *4 平成3年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *5 平成4年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *6 平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *7 平成6年度京都市埋蔵文化財調査概要
- *8 未報告
- *9 未報告

第12次調査の遺構



X-111880

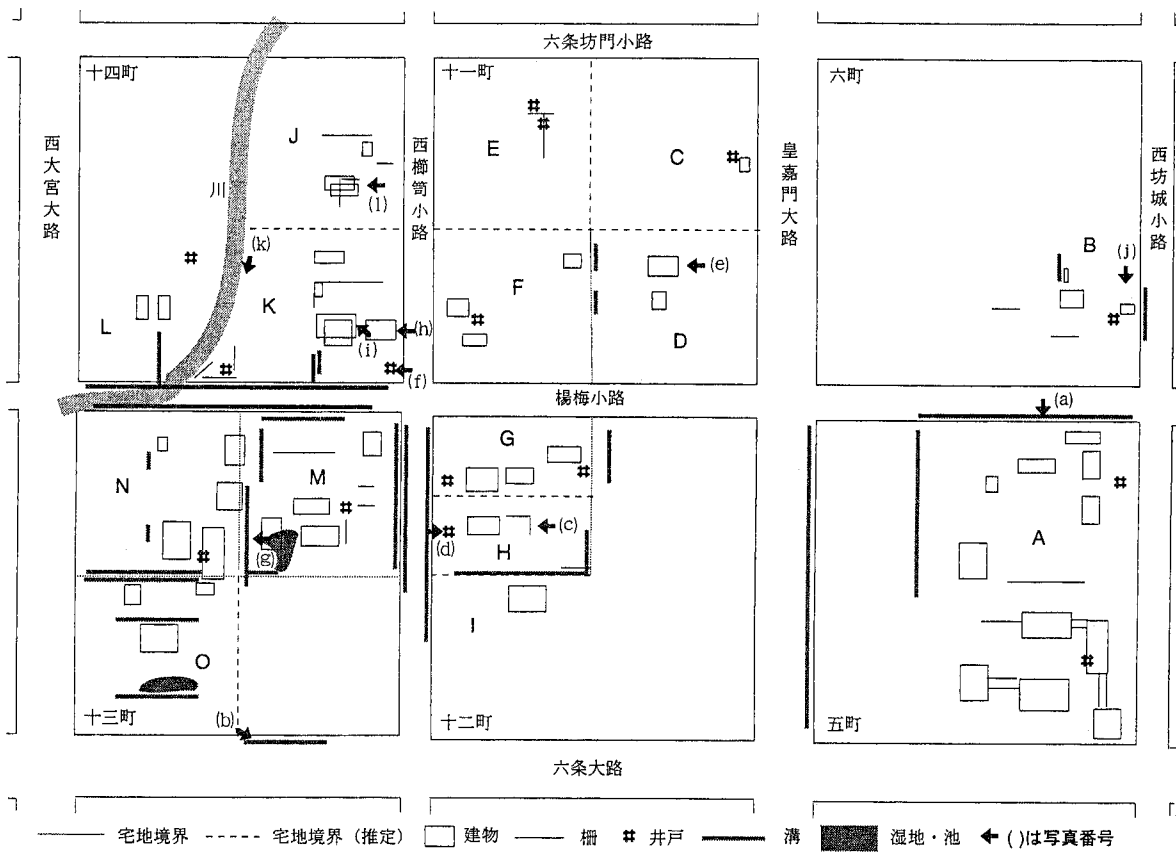


X-111900

Y-23780

Y-23764





平安時代前期の宅地割りと遺構模式図



(a) 五町 (1次) 宅地A



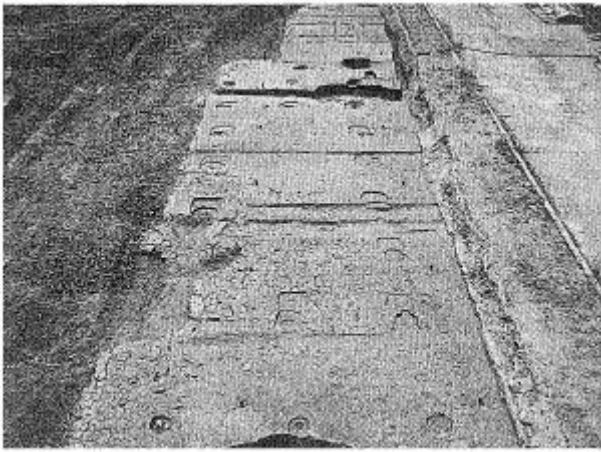
(b) 十三町 (3次) 六条大路北側溝



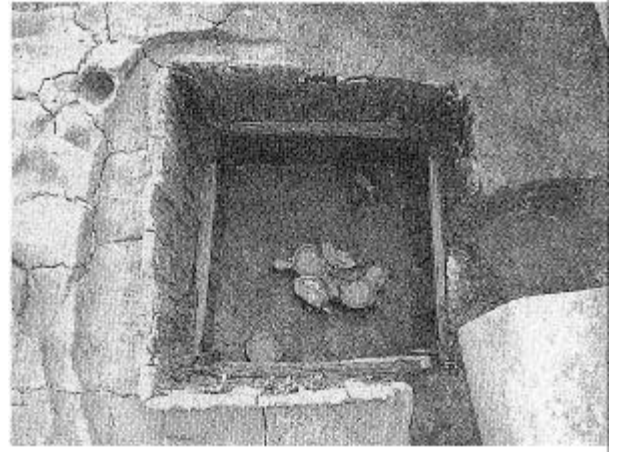
(c) 十二町 (4次) 宅地Hの建物



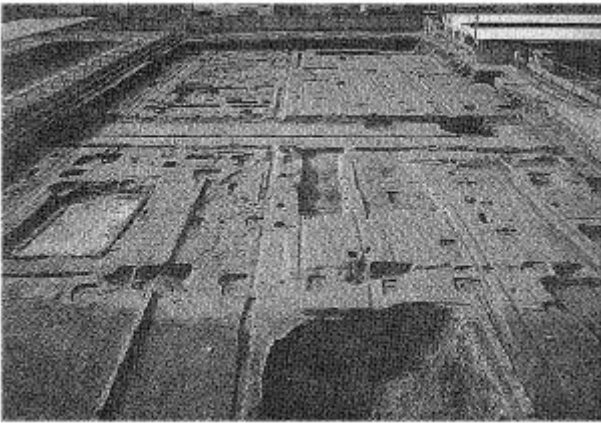
(d) 十二町 (4次) 宅地Hの井戸



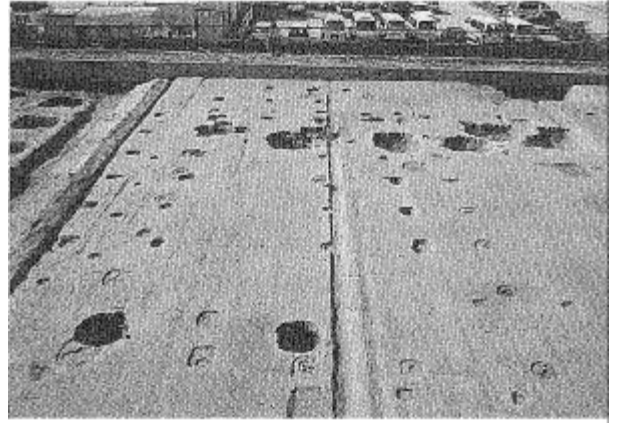
(e) 十一町（5次） 宅地Dの建物



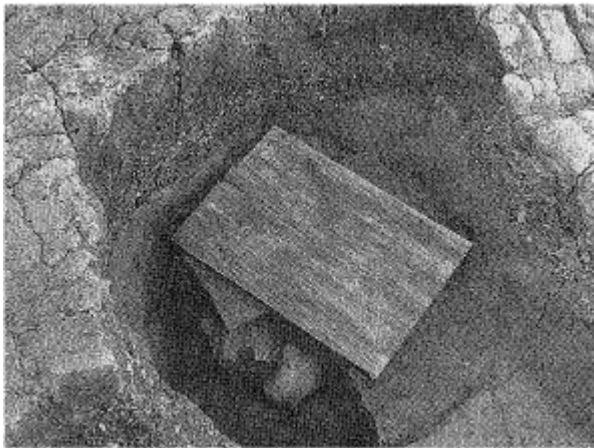
(f) 十四町（5次） 宅地Kの井戸



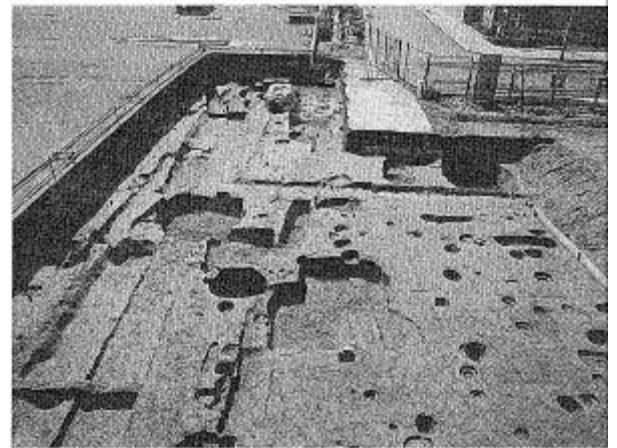
(g) 十三町（6次） 宅地Mの建物群



(h) 十四町（7次） 宅地Kの建物



(i) 十四町（7次） 宅地Kの柱穴礎板



(j) 六町（8次） 宅地Bの建物と西坊城小路西側溝



(k) 十四町（10次） 平安時代前期の川跡



(l) 十四町（11次） 宅地Jの建物